

	子どもの声・姿・意識 (総合的な学習の時間→総合)	活動の展開	教師の関わり(手立て)	単元の評価規準 ○知識・理解 ◎思考・判断・表現 ●主体的に学習に取り組む態度 <キャリア・未来デザイン教育の視点> [探究的な学びの視点]
一学期	「1年間を通して扱う材を決め、材について詳しく知る」(10)			
	・3年生の時は「ものづくり」をテーマに、竹・紙・大蔵大根・お皿・竹灯など様々な活動をやったよ。 ・「和」と聞いてイメージするのは、なんだろう？ ・「和」は、染め物・和菓子・お面・折り紙・和紙などたくさんある！ ・1組はものづくりが好きな人が多いからなにか作りたいな。 ・お面が作れたらすごい！ ・お面って張り子でできているんだ！ ・張り子ってなんだろう？やってみたい！ ・難しそうだけどやってみたら楽しい！コツが必要かも… ・もっと上手に作りたい！お面作りにむけて練習しよう！	○昨年度の総合について振り返り、新年度の総合の学年テーマ「和」からイメージを膨らませ、学級のテーマを決める。(2) ○張り子とは何か、どのようにつくるか、材料について調べてクラスで共有する。(2) ○張り子のデザインを考える。(1) ○張り子づくりの準備を行い、張り子をつくる。まずは型としてガチャガチャを使って張り子をつくる。(5)	・昨年度の総合を思い出し、今年度のテーマに興味をもてるようにする。 ・張り子にはたくさんの種類があり、様々なものがつくれることに気付くことができるようにし、意欲につなげる。 ・相手意識につながるように「どんな人に見てもらいたい？」と問いかける。 ・身近にあるガチャガチャを最初の型として使うことで、興味をもって取りかかれるようにする。 ・失敗しても次に生かせるように声掛けをする。	[1:課題を見出し、把握している] <③課題対応能力> <④キャリアプランニング能力> ○張り子には様々な種類や歴史があり、日本の誇れる伝統工芸品の一つであることを理解している。 <②自己理解・自己管理能力>
二学期	「自分が求める理想の張り子を追究して繰り返し作る。課題と向き合い、上手くなる」(26)			
	・ガチャガチャでは上手に新聞紙や和紙を張り付けて作れた！ ・丸以外の形にするにはどんな型を使ったらいいかな。 ・後から取り出すことを考えると紙粘土はやめたほうがよさそう。 ・油粘土なら固まらないから後から取り出すことができる！ ・油粘土で好きな形をつくって、油がしみないようにラップで覆うといいみたい！ ・和紙を張り付けて乾いたらカッターで切り込みを入れて中身を取り出すよ。一周全部切らないほうがその後楽かも。 ・張り子の練習を積んだから、お面づくりに挑戦しよう！ ・お面の作り方は今までの張り子づくりと違うのかな？ ・コツはなんだろう？ ・完成した作品をいろんな人に見てもらいたいな。	○やり方を試行錯誤しながら、粘土を型にして自由な形で張り子をつくる。(8) ○次回に生かせるように振り返りを行い、全体で共有する。(1) ○張り子でお面をつくるために計画を立てる。(2) ○張り子のお面作りに挑戦する。(7) ○再度お面作りに挑戦してさらなる完成度を目指すか、首振りの張り子に挑戦する。(8)	・もっと上手に作りたい、どうすれば上手に作れるかという疑問をもって作ることができるように、作品を見て声を掛ける。 ・失敗してしまったら励ますとともに、次にどうしたらよいか考えられる声掛けをする。 ・振り返りがしやすいように、タブレットで写真を撮影したりコツや改善点を記録に残したりするようにする。 ・今までの張り子作りから同様の準備手順を示し、効率よく素早く準備できるように環境を整える。	◎張り子づくりやの張り子の魅力発信を目指して必要な情報を、手段を選択して収集している。 [1:課題を見出し、把握している][2:課題解決の方法を考えている][3:協働して学んでいる] <①人間関係形成・社会形成能力> ●自己の取組を振り返ることを通して、より自分が作りたい張り子を作ろうと探究活動にすすんで取り組もうとしている。 ◎張り子づくりや張り子の魅力発信を目指して収集した情報を、取捨選択したり、複数の情報や考えを比較したり、関連付けたり焦点化したりしながら、解決に向けて考えている。 [4:学びを振り返り、次につなげている] <①人間関係形成・社会形成能力> <②自己理解・自己管理能力> <③課題対応能力> <④キャリアプランニング能力>
三学期	「張り子の魅力を広める」「1年間の成果となる活動や作品を展示して、保護者や地域に披露する」(16)			
	・学習発表会で今までつくった張り子を見てもらいたい！ ・張り子について学んだことをみんなに伝えたい！ ・日本の工芸品の魅力を知れた！ ・見てもらった人の感想を聞きたい！ ・いろんな人に見てもらえてうれしい！ ・初めてでもみんなで協力しながら完成させられた！ ・これからも今年1年で学んだことを生かして、探究していきたい！	○張り子作品についてまとめる。(3) ○学習発表会等で染め物の魅力を紹介する。(2) ○おうちの方を招いて、「4年1組張り子展」を開催する。(9) ○今年度の成果と課題をまとめる。(2)	・今までの活動の写真をもとに、自分たちにしかできない魅力発信を考えるように促す。 ・広めたい、伝えたいという子どもの思いは、他教科とのつながりで、より効果的に発信できるようにする。 ・今までの学習の軌跡について、児童が自分の成長に実感をもって話すことができるようたくさん記録をとっておく。 ・張り子づくりを通して学んだことを5年生につなげるためにキャリア・パスポートを活用する。	○活動を通して調べたり考えたりしたことについて、相手意識や目的意識を明確にしながらまとめる方法が分かっている。[2:課題解決の方法を考えている] ●張り子の魅力を発信するために、友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に向けて取り組もうとしている。 [3:協働して学んでいる] ◎張り子づくりの方法や張り子の魅力を、伝える相手や目的に応じて考えをまとめ、適切な方法で表現している。[4:学びを振り返り、次につなげている] <④キャリアプランニング能力> <②自己理解・自己管理能力>
材（張り子）のもつ価値			材（張り子）に寄せる子どもたちの思いや願い	
・張り子作りを繰り返し行い、新たな課題を見付け、その課題に向き合い、追究することで、課題を解決する力を身に付けることができる。 ・地域によって異なる特徴をもつ張り子を比べて、様々な伝統工芸品の良さに触れることができる。 ・自分が作った作品を見てもらい、感想をもらうことで達成感を得ることができる。 ・張り子について調べて、制作を行うことで、伝統工芸品について知り、理解を深める			★張り子を作りたい、張り子のお面を作りたいと思っている。 ☆張り子作りを楽しんでいる。 ☆張り子、伝統工芸品について深く知ることで、張り子、伝統工芸品の魅力を多くの人に伝えたいと考えている。 ☆デザインや形を工夫することで、たくさんの人に張り子を好きになってもらいたいと考えている。 <div>★…子どもたちの深層にあると予想される求め・思い・願い</div>	